



発　行：今 金 町 教 育 委 員 の 会
〒049-4393　北海道瀬棚郡今金町字今金４８－１
TEL：0137-82-3488　【No.１０９】H24(2012).12.20
E－mail:mitsuhiro.nakajima@town.imakane.lg.jp

檜山教育局長を囲んでの　教育（保護者）懇談会開催

１１月２８日（水）、檜山教育局長の松山拓男氏を囲んでの教育懇談会が開催されました。局長が町の保護者との懇談を開催するのは管内では非常にめずらしく今金町でも初の試みで前日に開催された「今金町校長会・教頭会合同研修会」の講師として来町されたのを機に実現したものです。



懇談のテーマは、今金町は「今金っ子育成プロジェクト・ワーキングチーム」を組織し、学校・家庭・地域・行政が一体となった取り組みとして「読書と作文のまち」の実践に取り組んでいることから読書活動をテーマとしてすすめられました。

懇談会のコーデイネートは、中島教育長が担当し進められ、前段、松山局長からは、全道的な図書振興の状況や学力学習状況調査、社会教育調査における読書意識、読書と学力の関係、漫画と読書の関係、読書と家庭環境などの情報提供と共に３つの提言の紹介をいただきました。



提言１読書を支える人を育てること
提言２住民参加による読書環境プランの作成
提言３基盤となる場（情報提供）の整備

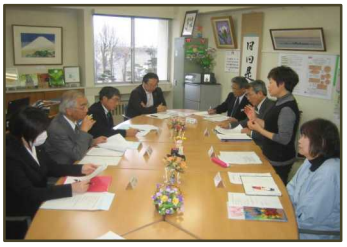
また、白川指導監からは、小学校での国語授業の中での「落語」を導入した経過や実践例について紹介をいただき、その後、今金町の実践については社会教育主事から説明が行われました。

保護者の皆さんからは、「読書と作文のまち」構想と実践についてそれぞれの立場での関わりや願いなどを話していただき、貴重な懇談会となりました。結びに、松山局長から、学校・家庭・地域・行政の先進モデルとして今後に期待すると共に檜山教育局としても社会教育指導班としても支援していきたいとの言葉をいただき終了しました。

〈教育懇談会出席者〉
□檜山教育局
檜　山　教　育　局　長　　松山　拓男　氏
檜山教育局義務教育指導監　白川　清久　氏
□保　護　者
今中ＰＴＡ会長（町Ｐ連会長）　成田美智代さん
今小ＰＴＡ会長（町Ｐ連副会長）永井　　章さん
今金小学校ＰＴＡ研修部長　早坂　　靖さん
種川小学校ＰＴＡ保護者　　蛯名かず江さん

移動教育委員会（今金小学校）開催

１２月５日（水）、教育委員による就学前等施設訪問が実施され、こども発達支援センターの視察が行われました。また、認定こども園の視察は、感染性胃腸炎が流行の兆しがあることから会場を教育長室に移し、認定こども園との教育懇談が行われました。



その後、今金小学校に会場を移し、移動教育委員会を開催しました。前段、学校をあげて取り組んでいる放課後学習の様子を見学し、その後、音楽室を会場に移動教育委員会を開催しました。今金小学校での移動教育委員会は５年ぶりの開催で、はじめに、教務主任の山寺教諭から「学力向上対策の現況」について、次に、特別支援教育コーディネーターの神田教諭から「特別支援教育の現況」について報告いただきました。教育委員と教職員による意見交換と教育懇談では、放課後学習を始めてからの子ども達の変化や保護者の反応、ティームティーチングから少人数指導（習熟度別指導要素含む）を通じ、今まで以上に「できる喜び」を感じる授業を目指していること，小・中学校の乗り入れ授業が町教育研究会の活動と連動し、成果が見えてきていること、特別支援教育においては、他機関（就学前の認定こども園、中学校、こども発達支援センター、保健師等）との連携や保護者理解などの重要性が確認されました。





また、教職員要望としては、現在、配置をいただいている特別支援教育支援員の拡充要望がだされました。教育委員会では、これらの内容を検討し、次年度の教育施策に反映して行きたいと思います。

委員リレー寄稿「歳時記」



今月は、田中教育委員です。

「今金　今年の気候と農作物」

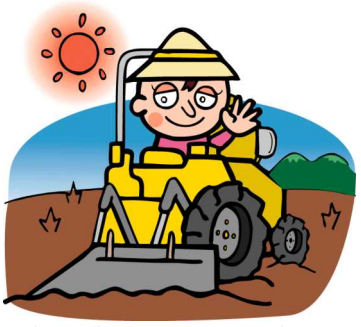
この「こんにちは教育委員です」読まれている方は教育の関係者が多いと思いますが、今金町は農業が基幹産業ですし、「食育」にも積極的に取り組んでいますので、ひとつの情報提供として、町の農業について少し記します。作柄等については、町農協営農部の方からお話を伺いました。

町の面積は５６．８１４ha、うち耕地面積は５．６６０ha、農家人口約１．５００人（農業従事者７００人）、販売農家は約３００戸、農業生産額約５０億円です。今年の主な作物の面積は水稲１．４４５ha、畑作は馬鈴薯４１５ha、大豆３２４ha、小豆２０１ha，てん菜１１２ha，小麦２４９ha、路地野菜は大根４０ha、にんじん２６ha、ブロッコリー１５ha、ハウス野菜はミニトマト８．７ha、軟白長ねぎ５．７ha、グリーンアスパラ１．３ha、他にそば６６ha、緑肥作物、飼料作物、牧草１．８２０ha などです。畜産は乳牛２８戸で約２．０００頭、肉牛４８戸で約１．９００頭です。



２４年は昨年に続き大雪と寒波で明けました。１～２月の気温は平年月気温より１．５度～２度低く雪解けも遅れ、我が家も数年振りに水稲育苗ハウス用地を機械除雪しました。４～５月、気温は平年並みでしたがやや天候不順で、各作物の播種移植作業が遅れぎみでした。６～７月、ヤマセが（冷たい東風、強いと冷害年となる）多かったのですが気温は平年並み、風も弱く日照もあり、稲は順調に生育しました。降水量が少なく畑作物は干ばつ傾向でした。８月以降、お盆過ぎからは異常な暑さで月の平均気温で平年比８月１．２度高い２２．４度、９月３．４度高い２０．５度と推移しました。稲の仕上げ、登熟には大変良い影響を及ぼしました。９月～１１月は大変雨が多く、畑作物の収穫作業に支障をきたし、一部病害、品質に悪影響がありました。大雪、寒波、豪雨、残暑、１２月の暴風など気象の変動が激しくなって来ている様です。

作柄について、水稲は作況指数　全国１０２、道内１０７、檜山１０８、本町も豊作。我が家の食用米も地酒用の酒米も品質収量良好でした。（おいしい地酒が期待できます。）名産の馬鈴薯は概ね良かったのですが、収穫期の高温と雨により異常発芽、腐敗が見られました。



小麦、小豆は収量品質良好。大豆、てん菜は収穫期が遅いため、収穫に大変苦労し、品質に個人差、糖度低下がありました。そばは大暴落、１俵（45Kg）千円以下とのことです。露地野菜、ハウス野菜とも１部秋の長雨による病害がありましたが総じて収量品質はまずまずでした。野菜価格全般が安値長期化の様相です。畜産は、乳牛、肉牛とも飼料価格等諸費用の値上がり傾向に比して、販売価格が伸び悩みの様です。

話は変わりますが、師走の総選挙、結果が出ました。保守？と競争原理を重視する考えの勢力が大勝し、リベラル派？の勢力が衰退。世の中のこと全てが、「競争」と「協調（互助、公平）」のバランスで成り立っていると思います。大まかに企業活動や都会は「競争」が優先しますし、福祉や教育や田舎は「協調」が大切にされます。「競争」だけではひずみや格差が生じますし、「協調」だけでは進歩がなく怠惰が生じます。さて、農業部門は？。近隣の量販店では外国産の「こめ」が店頭にある様です。近隣の遊休農地を資本力のある人が利用し、生産効率を上げるため遺伝子組み換え作物を作り始めたとしたら、止められません。国内では、米の生産調整をしています。道内では、畑作物の作付け指標があります。まったくルールなしですと、前述の今年のそばの様に価格の大変動です。農業はあまり儲からなくとも、自然相手にコツコツと毎年続けなければなりません。全国のそれぞれの地域は、自然、文化、伝統、規範意識等々様々なものを守り育んで来ました。国土の大部分は田舎です、過疎地域です。地域や農林漁業を守るのは、農林漁業者ではありません、一般消費者、国民全体です。ルールなしの競争優先では地域は守れません。



〔ふるさとの恵みとほほ笑みに　感謝するつどい 11/16（種川小）〕

終わりはよけいなヒトコトでした。